

三宮 十五郎 議員

日本共産党
弥富市議団

介護サービスの 切り下げを許すな

問

(1) さきの通常国会で、介護保険制度の根幹を揺るがす制度の大改悪が行われた。

団塊の世代が後期高齢期を迎え、最大の費用負担が求められる時期に、その給付額は現状の要支援の介護給付の2分の1程度の割合に縮小していくという方向づけを持ったものである。

市長は、周辺市町村とも協力しながら、介護保険などの市民サービスを後退させないように努力していくことを表明されたが、第6期介護保険事業計画が進められていく来年度からの3

年間、国会でも認められた住民の要求があり、行政が認めれば現在の介護給付を続けていくということを実際守っていただくよう尽力していただきたいと思うが、市長の考えを尋ねる。

(2) 要支援1・2の人を介護認定による障がい者の税控除の対象とすることについて市の考えを尋ねる。

(3) 重度・軽度の人も含めて、身体障害者手帳取得のサポートをもっと行っているだろうか。

(4) 本市は、保険料も利用料も現在決めている減額の基準も、他の市町に比べ少し良いものとなっている

が、ほとんど利用されていないので、ぜひこの活用について力を尽くしていただきたい。

国と自治体の考え方を どう整合させるかが重要

答 市長

(1) 要支援者の通所介護、訪問介護に対する国の考え方と自治体の考え方をどのように整合させていくかが一番大きな問題だと考える。

答 介護高齢課長

(2) 今後、介護度にかかわらず要支援者も自立度判定基準を考慮して認定する。

(3) 介護認定を受けるに当たっての主治医の意見書を参考に、窓口において手帳取得の可能性を伝えていきたい。

(4) 要介護認定者を定期的に訪問するケアマネジャーに対し、障がい名や等級、取得の手続などを説明した資料を配付して協力してもらえようようにしていきたい。

精神障害者医療 助成制度の改善を

問

県内でも多数の市町が、身体障害者手帳3級相当（精神障害者保健福祉手帳2級以上）の手帳保持者には一般の身体障害者手帳保持者と同様の全ての病気の保険対象医療を無料にする対応をしており、本市においても一日も早くこの問題の改善を求めるが、市の見解を尋ねる。

27年度から医療費を 無料化していきたい

答 市長

精神保健福祉手帳1・2級を所持してみえる方に、27年度から通院・入院ともに医療費の無料化をしていきたいと考えている。

企業団経営改善の成果を 生かし水道料金の値下げを

問

海部南部水道企業団の経

営改善を求める運動が住民から起こり、経営改善されたことを生かして、ぜひ水道料金の値下げを実現していただきたいが、市長の見解を尋ねる。

西火力発電所の設備更新が 完了する29年度に協議したい

答 市長

年間約20万トンの水を使用し、営業収益において、年間約6千万円をもたらす飛島村にある中部電力の西火力発電所の設備更新が29年度に完了予定である。水道料金、収益に対して大きな影響があると考えている。

過去に検討委員会において、この西火力発電所の設備更新が完了するまでは、今の水道料金を維持していくことで合意している。

したがって、設備更新が完了する予定の29年度に水道料金について、再度協議する必要があると考えている。